



昭和 37 年（1962 年）6 月 23 日、子どもたちに地域を基盤としたスポーツの場を提供することにより、正しいスポーツを計画的、継続的に実践し、それによって子どもたちを健全に育成しようと、スポーツ少年団の結成が全国に呼び掛けられました。創設当時の団数は 22 団、団員数は 753 人という小さな団体でしたが、スポーツ少年団が掲げた「スポーツによる青少年の健全育成」という目的の実現へ向けた動きと、東京オリンピック（1964 年 10 月）を 2 年後に控え国民各層のスポーツへの関心とが相まって、大きな反響を巻き起こし、地域ごとのスポーツ少年団、団員、指導者がその後急激に増加していきました。



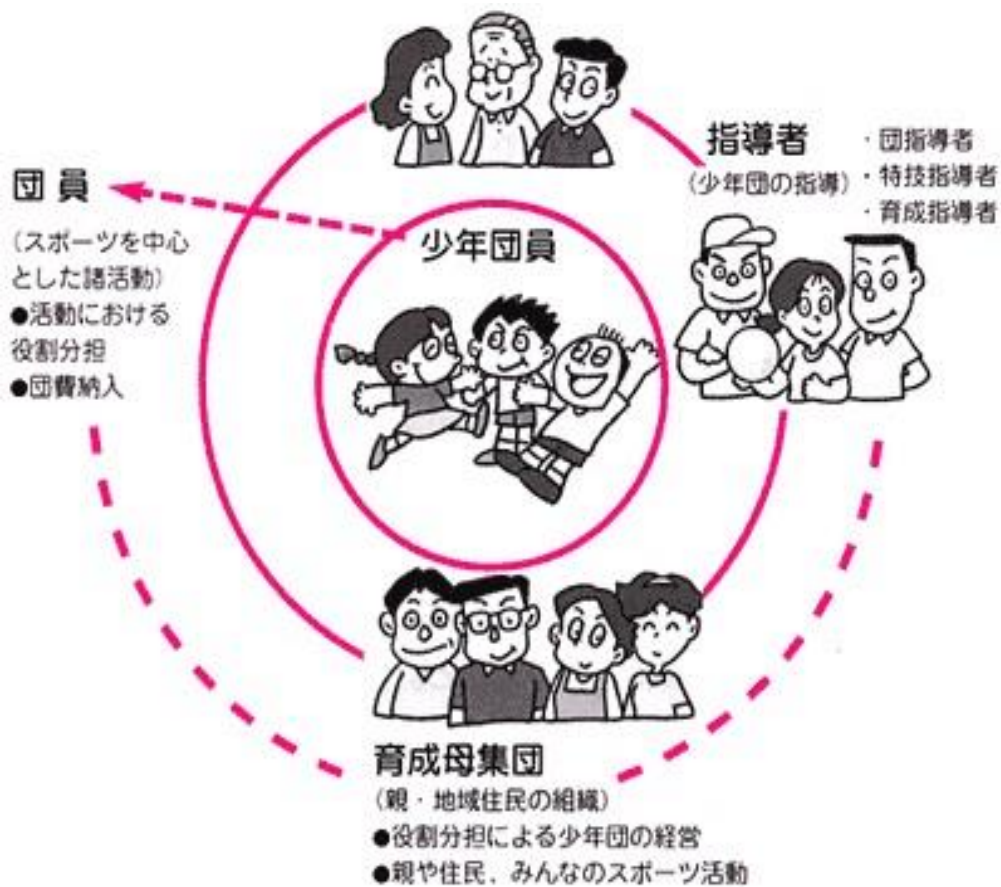
スポーツ少年団の活動は、学校時間や家庭時間を除く自由時間に行い、活動拠点は学校内ではなく、地域社会の中にあります。また、スポーツ少年団の主活動であるスポーツ活動は競技スポーツばかりではなく、発育発達段階を考慮したスポーツ活動のほか、学習活動、野外活動、レクリエーション活動、社会活動、文化活動など幅広く捉えています。こころもからだも大きな成長変化を遂げる時期には、このような多様なプログラムが必要です。そして、このような活動は、異年齢集団の特長を生かしながら、みんなで役割を分担し合い、自主・自立的に行うことが重要です。

（日本スポーツ少年団ガイドブックより）

鳥取県教育の基本理念は

『自立した 心豊かな 人づくり』

です



車尾のスポーツ少年団

野球部	バレーボール部 女子
バドミントン部 男女	ミニバスケットボール部 男女